

Kanadevia

プロジェクトコンソーシアム



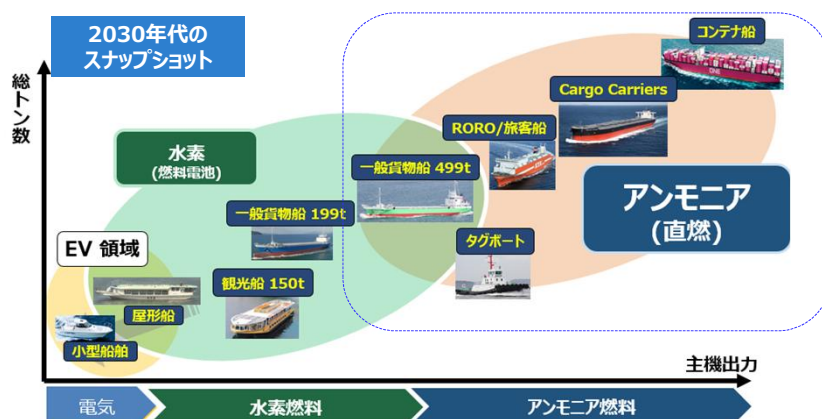
日本郵船

ClassNK

事業概要

[背景]

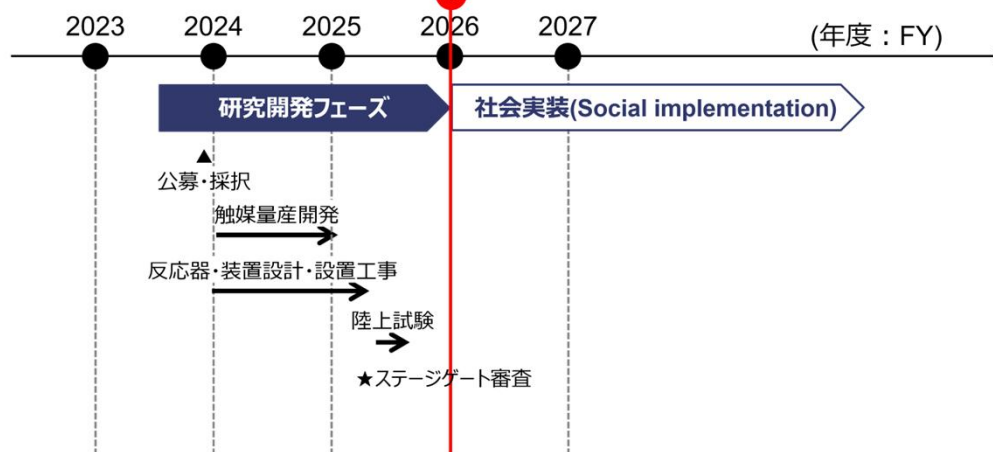
GHG排出削減の国際的気運が高まるなか、高出力が求められる船舶ではアンモニア燃料エンジンの普及が進むと見られる。一方で、アンモニアの燃焼によりN2Oの排出が想定される。N2Oの地球温暖化係数はCO2の265倍と極めて大きいため、従来の船用機器市場にはない**N2O除去装置(=N2Oリアクタ)の新市場が立ち上がることが予想**される。



[目的]

海運産業のアンモニア燃料導入で創出される環境付加価値をN2OリアクタによるGHG削減で最大化する。

開発スケジュール(TIMELINE)



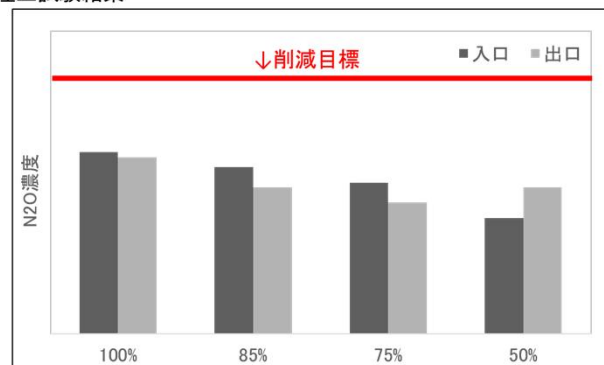
[成果・進捗状況]

- 陸上試験完了
- 2ストロークエンジンの性能向上によりN2O削減性能は限定的
- 実証船への搭載は見送り事業終了

[課題と今後の取り組み]

- 開発したN2Oリアクタを4ストロークエンジンに展開
- 各種規制に対し経済的に成り立つシステムの確立

陸上試験結果



2ストロークエンジンから排出されるN2Oが減少、排ガス温度の低下

↓
N2O削減量が限定的=経済性の成立が困難

連絡先：カナデビア株式会社 <https://www.kanadevia.com/>

日本郵船株式会社 <https://www.nyk.com/>